

令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 1001 - 25

事務事業名	池袋地区ウォーカブルまちづくり推進事業	担当組織	都市整備部	都市計画課
-------	---------------------	------	-------	-------

事業特性										
事業を構成する予算事業	事業開始年度	4年度	事業終了年度		計画ノ一般	一般	計画事業No.			
	単独ノ補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsのゴール		9	11	17	
①	ウォーカブルまちづくり推進事業経費				②					

政策体系（令和4年度基本計画）			
地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち	政策	文化と魅力を備えたまちづくり
施策	居心地が良く歩きたくなる空間づくり	政策番号	6-1-4
関連する個別計画	豊島区都市づくりビジョン、豊島区景観計画、池袋駅コア・ゾーンガイドライン2020など	計画策定年度	計画期間

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象(具体的に記載)	区民、来街者、池袋地区の企業、団体、学校、行政機関など								
(2)事業の目的・期待する効果	庁内組織だけでなく地域を含む横断的な調整により、文化や環境、施設など各所管が個別に展開している関連事業をウォーカブルな視点で共有し、グリーン大通りやアゼリア通りなどのシンボルストリートを中心とする池袋区域の回遊性を高める。								
(3)事業概要	池袋駅周辺地域内で発生している多様な地域活動主体や地元企業などからなる「プラットフォーム」を構築し、地域の将来像などを共有し、賑わい活動を以て取り組み、地域のブランディングを強化するとともに情報を発信していく。								
(4)目標の達成状況	4年度の取組内容(4年度に実施した具体的な業務内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアプラットフォーム立ち上げ支援 ・～池袋東西ウォーカブル社会実験～みらいつなぐいけぶくろDAYの開催(令和5年3月21日) ・いけぶくろウォーカブル CONCEPT BOOKの作成 ・地域活動に関する意向調査、ベビーカーシェアリング事業の検討、ウォーカブルマップの検討、作成 							
	成果指標(事業目標の達成度)	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	5年度(計画値)	
	①	「池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	↗	%	32.6	34.0	35.0	102.9%	35.0
	②								
③									
指標の説明	①協働のまちづくりに関する区民意識調査								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							
(5)取組実績	活動指標(事業の実施状況)	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	5年度(計画値)	
	①	池袋エリアプラットフォーム定例会議開催	→	回	-	24	24	100.0%	24
	②								
	③								
指標の説明	まちの課題や現状の洗い出し、将来像の共有に向けた未来ビジョンの策定に向けて官民一体となり開催し、ワークショップやディスカッションを通じて様々なプロジェクトへ繋いでいく。								
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	3年度		4年度			5年度	
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R4決算比)
事業費	A		21,200	20,195	95.3%	5,673	-14,522
人件費	【正規(人数)】	—	—	(4.00)		(3.00)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	—				—
人件費B	B	0	—	34,000		25,500	-8,500
事業費(人件費含む)	C=A+B	0	—	54,195		31,173	-23,022
財源内訳	国、都支出金					1,500	1,500
	使用料・手数料	D					0
	地方債・その他						0
一般財源	E=C-D	0	—	54,195		29,673	-24,522

3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

【指標の達成状況(a)】
→S、A、B、C、Dの5段階で評価 **A** 根拠 100%超の達成率のため

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。
※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和4年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題
エリアプラットフォームによる未来ビジョンの策定の後、民間主体の取り組みならではの機動力・実行力・連携力をもったまちづくりで、持続的な経済基盤と社会関係資本を構築するため、役割に応じた支援を行っていく。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)
池袋東西ウォーカーブル社会実験を公民連携で開催し、11月に設立された池袋エリアプラットフォームとともに、池袋の将来像(広場空間など)について来街者へ意見聴取を行い肯定的な意見を数多くいただいた。

【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】
S、A、B、Cの4段階で評価 → **A** 根拠 官民一体で事業を進められるため

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

(2)業務(事務)改善にむけての取組み

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)
エリアプラットフォームによる未来ビジョンの策定の後、民間主体の取り組みならではの機動力・実行力・連携力をもったまちづくりで、持続的な経済基盤と社会関係資本を構築するため、役割に応じた支援を行っていく。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	令和4年度新規事業のため。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	官民一体となって事業効率化を進めた。
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	官民一体での事業により最小限のコストで開催。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	池袋エリアプラットフォームによる未来ビジョン策定	予算措置	無
対応・改善予定(上記ではい場合は更なる)	有	無	対応、改善の予定がない理由			
選択肢に関わらず	有	有	対応、改善の内容	池袋エリアプラットフォームによる未来ビジョン策定、6年度以降の具体的事業(アクションプラン)に活かす。	予定時期	R6.3
	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由		

【区が実施する必要性(c)】
S、A、B、Cの4段階で評価 → **S** 根拠 歩行者優先のまちづくりを実現するため

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3)必要性/優先度

①区が実施する理由(複数選択可)

<input type="radio"/>	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="checkbox"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	指標番号(成果)	①	サービス利用者数
	「有」「無」ともに記入		推移	↗	推移	→	
区民ニーズに対する認識	歩行者優先のまちづくりを実現するため						

総合評価(d=a+b+c) **ランク1**

4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	「池袋エリアプラットフォーム」や、グリーン大通り・ハレザ池袋で展開するエリアマネジメントの効果的な運用。
②国・都の動き（関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など）	国は都市再生特別措置法の一部を改正し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出に向け、法律を改正し税制や金融支援制度などを通じて推進する。 都は「パークストリート東京」と銘打ち、ウォーカブル施策を推進する自治体を支援する。
③令和5年度の方向性・取組方針（事業展開）	<ul style="list-style-type: none"> 池袋エリアプラットフォームの「未来ビジョン」を官民が連携して策定。 池袋西口エリアにおける地域活動意向調査。 運営組織の強化、地域リーダーの育成。 など
④令和5年度の事業進捗状況（6月末時点）	<ul style="list-style-type: none"> 池袋エリアプラットフォームによる「未来ビジョン」策定に向け定例会を6回開催。ほか会員企業等へアンケートを実施。 池袋西口エリアの地域活動における意向調査を開始。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	池袋エリアプラットフォームへの参加は80社に上る。公民連携にまちづくりへの期待の表れと認識している。
⑥上記⑤に対する対応	池袋エリアプラットフォーム定例会議の中で積極的に意見を出し合い「未来ビジョン」の実現を目指す。

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	歩行者優先のまちづくりを実現するため
---------------	------	----	--------------------

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	S: 拡充
---	-------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

・池袋周辺地域内における「池袋エリアプラットフォーム」が、取り組みの目標となる将来像を年度内に策定し、それを踏まえて具体的な取り組みを推進することとしており、区としても同プラットフォームの活動を支援する必要がある。